

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

243号



2021年12月26日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

我がまち、常盤台が旅客機の定時航路の真下にされ、不愉快な爆音にさらされるようになってしまいました。慣らされているのか、以前ほど切実に考えていない人が増えています。この一面の左側に、常に都心低空飛行問題を据えるようにしてからも、なんと5年も経ってしまいました。

この国では為政者が誤りを認めるには膨大な時間がかかることは数々の事例が示しています。タテ社会だから一旦上で決めたことを変えることができないのです。

だから私たちは10年単位で活動を持続する覚悟を持たねばなりません。

いつまで反対しているのだ、という声もあるようですが、国民はすぐ忘れるから、と言われて怒りを覚えない人はいないでしょう。

○ 板橋区内に羽田新航路を考える会 新たに発足

今まで板橋区内では「いたばしの空を守る会」が活動してきましたが、小茂根辺りを中心に「つながる羽田新ルート研究会@板橋」が発足しました。いくつもの市民運動が生まれて広がっていくことを期待します。

○ 落下物あいかわらず 沖縄で米軍機から燃料タンクが

都心を低空飛行する新航路がいかに人権を無視したものか、改めて痛感します。沖縄での落下物の件は、事故にならなかったのが不思議でした。米軍機は都の上空でも自由に飛ぶことができるのです。

この1年のご愛読に感謝し、来年もよろしくお願い致します。コロナ禍が収まり、幸せな世の中となりますように！

○ テレビ東京「出沒アド街ツク天国」 1月29日(土) 21時～ 常盤台が取り上げられます

昨年11月から常盤台の街を取材していましたが、果たして私たちの街はどんな印象で編集されて伝わるでしょうか。

クルドサックに興味を持っているようですが、あの特徴的な街灯は、放映される頃には別の姿になっているはず。昔の分譲当時に設置されていた単灯式のシックな街灯になっているでしょう。石井幹子デザイン研究所が監修しています。

○ 天理教の施設は撤回

東町会の中で予定されていた天理教の施設兼個人住宅は、町会長からしゃれ街協議会への連絡では、施主側が建設を撤回したということです。詳しいことは良く分かりません。

○ 詐欺犯捕まる

前号で還付詐欺にあったSさんの件を報告しましたが、その後犯人が捕まったそうです。公判の日には未定とのこと。

また、幸いなことに、郵便局の保険制度があつて、Sさんの被害額の4分の3は補償されるのか。4分の1の被害で済んだとは言え、不愉快なことに巻き込まれてお気の毒なことでした。来年は良いことがありますように！

そして私たちは絶対に電話でのお金の話は信用しないように、カードや通帳は絶対に渡さないように気を付けましょう。

葬祭場反対運動をふりかえる(3)

毎週三十人以上が集まって相談していましたが、代表者は建物の向かい側のKさん、事務局長は肝っ玉かあさんタイプのEさんと直ぐ決まって、Eさんからは次々指示が飛んで、常時見張っていて、施主の姿が見えたら直ぐ連絡をまわすこと、区へ陳情し、区長へ面会を求めるとなどが実行されました。

大勢で区役所に行く時は、Eさんがどこからかバスをタダで借りて来ました。バスの横腹の名前は隠してあり、どこのバスかはいまだに内緒ということになっていますが、だいたい見当はついていきます。

当時の区長は石塚さんだったでしょうか、とにかく逃げるのが上手で、区長室まで皆が上がっていく間にいなくなってしまうのです。区長室の裏に別の出口があるのだろうと噂しました。

町会も力になってくれませんでした。總會の時にこの話を相談しようと鉢巻きをしめて何人も出席したのですが、ここは皆さんの問題をとりあげる場ではない、と意見を封じられたのです。

本人との直接交渉も不調、区議会議員も始めこそ話を聞いてくれましたが、徐々に来なくなり、八方塞がりの状況でした。そこへこれもEさんの思いつきだったかと思えますが、区に集会所として買い上げて貰う案が浮上しました。周囲の集会所とその規模を調べて提案したところ、当時は区も予算に余裕があったのでしよう、この案が実現するのです。

国交省データ改竄の手口

驚きの報道でした。日本人のモラル低下もここまで来たのです。国交省が各自治体からあがったデータを改竄していたのです。

その手口は鉛筆で記載されている数字を消しゴムで消して、新たな数字を書き込むという原始的な方法。これでは証拠も残りません。

なぜ鉛筆で？と思いますが、多分自動読み取り機が鉛に反応するように作られているからという言い訳が用意されているのではないのでしょうか。

それに関連してある疑問が再浮上してきました。選挙の際に投票所に用意されている鉛筆です。これもある特定の候補者の名前を消しゴムで消せば、違う字を書き込む時間は無くても、白票としてしまうことは可能です。そういう懸念を抱いた関係者はいなかったのでしょうか。

オリンピックの決算

あのオリ・パラの大会経費が一兆四千億円という途方も無い数字になることがやっと発表されるらしい。昨年の試算一兆六四〇〇億円に比べて二億円も少なくなったと言いたいのだろうか、招致時に示した金額はいくらだったか、猛反省して欲しい。都や国による追加負担は生じないというが果たして信じられるだろうか。詳細をガラス張りに報告すべきだ。

金まみれとわかったオリンピックを性懲りも無く札幌に誘致しようとするのは愚かたしか思えないのだが。

常盤台公園のはなづくり

今、公園は冬模様。サクラやケヤキはすっかり葉を落とし、天気が好ければお年寄りがベンチで日向ぼっこをしており、保育園の園児が保母さんに連れてこられて歓声を上げながら走り回っています。

最近は何庭の無い保育園もあるので、この常盤台公園はますます重要な場所になっていくのでしょうか。

旧図書館前の花壇には四〇〇球以上のチューリップが眠っている上に、色とりどりのパンジーやビオラが可憐な花を咲かせています。この寒さに負けていない健気さに感心します。今回は希望通りの数が区から支給されました。

ネコのトイレ化対策としてTさんは籠を伏せたり除いたりで大変です。

地表が乾いているとネコは喜んでうちをし、証拠隠滅とばかりに土をひっかきまわして行くのです。雨が降った後は来ないので、日に当てるのと本来の花壇を見て貰うため籠を取り除いているのです。

この公園になじめなかったのか、と心配していたアカンサスモリスですが、大きく成長してはいないものの、自然と株分けしていました。どんな条件が合わなかったのか、原因不明です。

